

# 2019年度岡崎別院報恩講のご案内

本年度も当院の報恩講が近づいてまいりました。

下記の日程にて厳修いたします。ご多用のりとは存じますが、万障お繰り合わせの上、何とぞご参勤・ご参詣いただきますよう、よろしくお願ひ申し上げます。

記

日時 10月23日 (水)  
午前10時～



信教院殿御参修  
楽有 岡崎別院雅楽会

講師 本明 義樹 師

(山城第五組 専光寺 真宗大谷派聖教編纂室主任編纂研究員)

講題 「悲喜の涙を抑えて」

※お持ち帰りいただけるお齋をご用意いたします。準備の都合上、10月18日(金)までに返信用はがき、または電話・FAX・メールでご連絡いただきますようお願い申し上げます。

第41号  
令和元年  
(2019年)  
10月・11月  
・12月号  
発行：編集  
岡崎別院  
輪番 福田 大



山門



御俗姓拝読



鍵役御登壇



講師御法話



当日のご参詣



岡崎別院雅楽会



御絵伝



受付



法話を聞く参詣者

## 昨年度報恩講の様子

### 〈十月十二月の法座案内〉

○十月三日(木)十四時～  
○十一月三日(日)十四時～  
○十二月三日(火)十四時～

### 味読正信偈

○十月十三日(日)九時半～  
○十一月十三日(水)九時半～  
○十二月十三日(金)九時半～

### 報恩講

○十月二十三日(水)九時半～  
真宗大谷派聖教編纂室  
主任編纂研究員 本明義樹 師

### 本山報恩講参詣

○十一月二十三日(土)九時半～  
列座随行

### お煤払い

○十二月二十三日(月)十三時～  
\*終了後、忘年会

### 歳暮勤行

○十二月三十一日(火)十五時～  
山城第二組主催

「落語と石見神楽の夕べ」  
○十月九日(水)十九時～ 本堂

### 〈結婚式〉



二〇一九年  
七月二十一日挙式  
羽藤 義倫さん  
沙代子さん  
\*出張結婚式  
於リーガロイヤルホテル



二〇一九年  
九月八日挙式  
有馬 幹雄さん  
志子さん

### 結婚式予約状況

二〇一九年  
☆十月五日 小林・前山家  
☆十月十四日 河井・越智家  
☆十一月十日 某家  
☆十一月十七日 小斉・森家  
☆十二月十五日 広住・片岡家  
二〇二〇年  
☆二月一日 某家  
☆二月十六日 某家  
☆三月二〇日 某家  
☆四月五日 某家  
※詳細はホームページをご覧ください  
<http://okazakibetsuin.com/>  
「結婚式予約状況」より

宗史蹟親鸞聖人岡崎草庵跡  
真宗大谷派(東本願寺)

## 岡崎別院

〒606-8335  
京都市左京区岡崎天王町  
26番地

電話 075-771-2921  
FAX 075-748-1665  
<http://okazakibetsuin.com>  
[info@okazakibetsuin.com](mailto:info@okazakibetsuin.com)

### 〈お願い〉

十月十九日に報恩講に向けたおみがきを行います。ご門徒、三日講員の方へはいつものようにご案内を同封しております。ご参加頂ける方は別院までご連絡をお願いいたします。

### 〈列座のつらさ〉

お盆も終わり、朝晩は秋の気配を感じるようになってきました。喉元過ぎれば何とやらとは言いますが、今年の暑さはなかなか厳しかったように思います。毎年のように「今年は暑くて大変ですね」という会話が繰り返されていると思うだけで暑さの苦手な私としては数年後は、と考えるだけで気が滅入ってしまいます。暑さが過ぎれば次は台風を気にして、「今年は大丈夫だろうか」と思いながら報恩講に向けて色々と準備をしております。結局のところ、暑かろうが寒かろうが空に向かつて文句を言ってみたり、「天気が〇〇だから大変だった」と言いたいのよな気持ちもしていいです。(近藤)

### く仏さまが観てござるく

仏さまが観てござる。この言葉は今や死語に近いように想われる。幼少時代に親からよくいわれていた言葉の一つである。何かこの言葉には、一人で生きていた言葉ではない、仏さまと一緒に生きていて自分の生き様を問われている事を言い当てる言葉と私は頂いている。

最近、毎日のように報道されている“あおり運転”。そのことを証明し、証拠となるようにドライブレコーダーの普及が伸び、私自身も車に搭載している。一方では、犯罪の証拠となったり犯罪者の足取りを追ったりするのに防犯カメラも貢献し、別院でも使用している。

昔は、仏さまが観てござる。今は、カメラやレコーダーが見てござる。時代の推移によって観ている主体が大きく変化している。観ているのが仏の場合には、手元に引き寄せ「何故、その様なことしか出来ないのか」、「何故、そんな風にしか思えないのか」と、寄り添って叱られるような感が強い。しかしながら見ている主体がカメラやレコーダーの場合には、人を裁き、人を切り刻んでいるようにしか感じられない。しかし、私は人を裁き、人を切り刻んでいる時代を生きながら、必需品としてしか感じずに生きているのもまた、事実である。

仏さまが観てござるとは、人を裁き、人を切り刻んでいき私に「人のことはさておき、お前はどうか」とこの私に問うてくるはたらきの事をいうのではなからうか。もし、四六時中、私生活がカメラに写されるならば、“恥ずかしくて仕方ない”そんな私が他人(ひと)のことをどうして批判できようか。今日もこんなお恥ずかしい私が仏さまに観られながら大きな顔をして他人(ひと)に仏法を語り、衣を着て、お参りをしている。

## 二〇一九年度

### 岡崎別院報恩講

昨年度より、院内勤めとして速夜勤行をはじめました。本年度も昨年度同様、速夜勤行をいたしますので多数の御参詣をお待ちしております。

また、昨年度同様、前日の準備よりお手伝い頂ける方を募集しております。荘厳や参詣席の準備等お手伝い頂ける方は別院までお申し出下さい。

#### 報恩講日程

- 二十一日十三時～ 報恩講準備
- 二十二日十三時半～ 院内速夜勤行・法話
- 二十三日十時～ 日中勤行・法話

### 三日講おしゃべり倶楽部

ご法話の後、そのまま帰ってしまうのは何か勿体ない。もっと仲良くなりた。いろいろ話したい。そんな単純な思いで「三日講おしゃべり倶楽部」を始めました。

①ご法話の後、お茶を飲みながらのおしゃべり

②時にお出かけとランチ

③十一月には三日講主催の報恩講 縁あつて寺に集う者同士の触れ合いを深め、出会うの時間を大切に過ごしたいと考えております。皆様、お気軽にご参加下さい。

以上、三日講森田氏発案の集いです。興味のある方は別院までお問合せ下さい

## 岡崎別院おみぎき



本堂でのおみぎき

七月二十二日、暁天講座に向けて仏具の別院御門徒、三日講員など十五名にご参加いただきました。終了後、御文に関するミニ法話と読み方の練習、その後、手作りカレールーを全員でいただきました。

## 盃蘭盆会



洲崎 善範 師

八月十三日、当院で盃蘭盆会法要が厳修された。洲崎善範師より「御荘厳に学ぶ」の講題でお話いただいた。約三十名が参詣した。法話後は書院にて講師・参詣者を含めて雑炊を頂いた。

### 三日講栖雲師法話



栖雲 深泥 師

八月三日、三日講有志をお招きして御法話を頂いた。約一時間ほど本堂にてご法話を頂き、その後、書院にて参詣者と共にお茶とお菓子を頂きました。

## 二〇一九年度岡崎別院

### 暁天講座(朝の法話)



佐賀枝 夏文 師

七月二十五日から二十七日にかけて当院にて暁天講座(朝の法話)が開催された。蒸し暑い日が続く中、各日も満堂となり、三日間合計での参詣者は約三百五十名に上った。

受付は山城第二組内住職や別院三日講員の方々にお手伝いいただいた。各回の講師と講題は左記の通り。



楠 信生 師

二十五日 佐賀枝 夏文 師  
「大いなる「はたらき」に導かれて歩む道」

二十六日 楠 信生 師  
「むなしく生死にとどまることなし」

二十七日 黒萩 昌 師  
「道について「救われつつあるもの」



黒萩 昌 師



当日の本堂入口



本堂参詣者

講座にあたり、講師・参詣者の皆様、並びに三日講員、寺院関係者の皆様には、多々ご協力いただきました。この紙面を借りてあらためて御礼申し上げます。

### お能ワークショップ



本堂での謡と舞



絵を描く参加者

八月二日、当院でお能教室をされている金剛流能楽師宇高先生とアトリエゴさんの合同で近隣の小学生などを対象にしたワークショップが開かれました。

本堂に子どもたちが集まり、実際に装束を付けて能楽師の方の動きや様子を見て、それらを子どもたちの感性で描いていました。

当日は猛暑であったが、多数の親子連れが参加されました。

### 本山報恩講参詣

毎年十一月二十三日に別院列座随行のもと、有志の方々と本山の報恩講へ参詣してまいります。例年、日中法要に参詣し、現地解散としておりましたが、本年より、参詣後希望される皆さんで、大寝殿でのお斎を頂くこととなりました。

通常冥加金は三千八百円必要ですが、ご門徒、三日講の方々は半額を別院より補助させて頂きます。

方々はお早めにご参詣しますのでお申込みの日時 十一月二十三日 九時半本山集合 日中参詣後十一時半よりお斎